

～多文化共生社会の構築を推進する事業～

1. 多文化共生社会づくり推進事業

(1) 多文化共生のまちづくりサポート事業

外国人市民が、安心して快適な生活が営めるよう、様々なサポート事業を行う。

① 多文化共生オフィス運営事業（熊本市外国人総合相談プラザ）

外国人総合相談プラザにおいて外国人からの相談を始め、日本人からも外国人に関する相談が多く寄せられ、状況を確認しながら丁寧に対応しました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり電話やメールでの問い合わせが多く、特に「電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」に関しては、個人の収入等の状況により給付の可否が決まるため、市関係課と情報共有・連携を図り対応しました。



その他、増加傾向にあるネパール語相談日を追加すると共に、相談者の相談傾向から一人の相談者が複数の課題を抱えていること、遠方に住んでいることや仕事の状況から相談日に来館できないことなどを踏まえ、専門相談員及び通訳が一同に介する「ワンストップ相談会」を開催しました。

●ワンストップ相談会

日 時：令和4年10月30日（日）10:00～16:00

場 所：国際交流会館 2F外国人総合相談プラザ及び交流ラウンジ

相 談 員：18人

相談者数：17人・10か国（来館15人、オンライン2人）

対応言語：日本語5件、英語9件、ベトナム語1件、中国語1件、ネパール語1件

相談件数：28件

（内訳）法律に関する相談3件、在留資格に関する相談8件、
就労に関する相談5件、心の相談3件、住まいの相談1件
日本語学習に関する相談3件、教育に関する相談2件
幼稚園保育園に関する相談2件、生活全般に関する相談1件

≪相談件数≫ 4,430件 ※その他問合せ含む



≪相談内容・スケジュール≫

相談内容	日程	時間	対応者
日本語・英語	常時	10:00～18:00	職員
中国人のための生活・教育	水・金・日 *第3土曜は対応、翌日休み	13:00～18:00	職員
スペイン語	第1金曜	13:00～17:00	外国人市民
タガログ語	第2水曜	13:00～17:00	外国人市民
ベトナム語	第1水曜、第3日曜	13:00～17:00	外国人市民
*ネパール語（10月より新規）	第3日曜	13:00～17:00	外国人市民
出入国管理	第1水曜、第3日曜	13:00～16:00	熊本県行政書士会
法律	第3土曜 *予約対応	14:00～16:00	熊本県弁護士会
おしごと	第2水曜	10:00～18:00	人材派遣（株）マイスティア
こころ	第3水曜	15:30～17:30	産業カウンセラー Be Me コンサルティング
住まい	第3水曜	13:00～17:00	熊本市居住支援協議会

他、「外国ルーツの子どもに関する教育相談」を予約対応（協力：NPO 法人外国から来た子ども支援ネットくまもと）

《熊本市国際交流員（CIR）による相談》

- 中国相談（毎週火曜） 13:00～17:00
- ドイツ相談（毎週水曜） 13:00～17:00
- 韓国相談（毎週木曜） 13:00～17:00
- 英語相談（毎週金曜） 13:00～17:00

●3者通訳システム（22言語対応）

英語、中国語（北京語）、韓国語、タイ語、ロシア語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、マレー語、タガログ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語、ウクライナ語

●ビデオ通訳システム（8言語対応）

英語、中国語（北京語）、韓国語、タイ語、ロシア語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語

●生活ガイダンスの実施「おるがったキッズ」（新規）

外国ルーツの未就学及び小学校低学年の児童を対象に、保育園や幼稚園、学校生活に適應できるよう新たに「おるがったキッズ」事業を立ち上げ、保護者向けに生活ガイダンスを実施しました。

日 時：毎月第4日曜日 11:00～12:00

場 所：国際交流会館 2F 外国人総合相談プラザ

●熊本市市政だよりの多言語化（やさしい日本語、英語・中国語・韓国語・ベトナム語）事業

熊本市市政だよりに、外国人市民の生活に必要な情報をピックアップし、やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、新たにベトナム語を加え翻訳し、事業団ホームページで公開しました。さらに、定期的に発行しているメールマガジン（あんしん・あんぜん・防災・生活情報 e メールマガジン）にも同内容を掲載し周知に努め、英語は情報ボランティアへ翻訳を依頼し活動の場の提供と作業の効率化を図りました。

●あんしん・あんぜん 防災・生活情報 e メールマガジン（外国人市民向け生活情報）

災害時に情報提供を行う e メールマガジンを活用し、毎月一回定期的に生活情報を配信しました。新型コロナウイルス感染症関連の情報、電気ガス高騰による給付金情報や外国人市民から問い合わせの多い日本語学習について、多言語で提供しました。

*登録人数：632人（内訳：英語 354人、中国語 152人、日本語 106人、韓国語 20人）

配 信 日：毎月 10 日

② 多文化共生月間事業

毎年 2 月を多文化共生月間と位置付け、同月間内において下記の事業を開催しました。

●多文化共生シンポジウム「外国ルーツの子どもの教育を考える」

外国ルーツの子どもの抱える問題、学校における日本語教育や家庭環境など増加する外国ルーツの子どもに焦点を当てたシンポジウムを開催しました。

日 時：令和 5 年 2 月 19 日（日）14:00～16:30

場 所：国際交流会館 6F ホール

（1 部）基調講演「学校や地域がひとりひとりの可能性をふくらませるために」

講 師：金 光敏氏（社会教育士・常磐会短期大学兼任講師）

(2部) 熊本市における外国ルーツの子どもの教育サポート事例紹介

≪事例発表≫

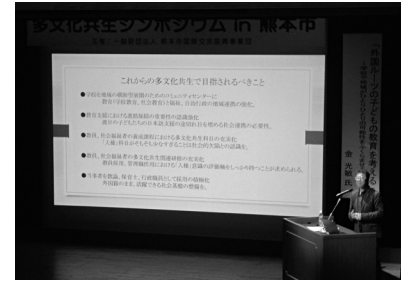
福田 衣都子氏 (熊本市教育委員会指導課課長)

秋葉 多佳子氏 (熊本県立大学文学部准教授)

竹村 朋子氏 (NPO 法人外国から来た子ども支援
ネットくまもと代表)

参加費：無料

参加人数：87人



●外国人コミュニティイベント「多文化サタデー」

多文化共生月間の土曜日に「多文化サタデー」として、外国人コミュニティと市民が集う異文化交流の機会を提供しました。

場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ

参加費：無料

≪第1回≫ 「台湾の魅力」

日 時：令和5年2月11日(土) 14:00~16:30

講 師：邱 桂芬氏、台湾崑山科技大学インターン生3人

参加人数：28人

≪第2回≫ 「イスラムを知ろう」

日 時：令和5年2月18日(土) 14:00~16:00

講 師：シラズ ハン氏(熊本イスラミックセンター・イマーム/指導者)

参加人数：12人

≪第3回≫ 「ネパール文化紹介」

日 時：令和5年2月25日(土) 14:00~16:00

講 師：ハリ・デコブタ氏(熊本大学教育統括管理運営機構特任教授)

参加人数：24人



●多文化共生パネル展

多文化共生月間期間中、熊本に暮らす外国人市民の状況を紹介するパネル展を開催しました。

期 間：令和5年2月1日(水)~28日(火)

場 所：国際交流会館 1F エントランス

内 容：熊本市区毎の外国人状況(人数、国籍、在留資格など)や、事業団の多文化共生に関する活動紹介、外国人総合相談プラザ相談事例紹介、日本語学習者の書初めなどを展示

来場者数：約300人

③ 多文化共生地域サポート活動

熊本市各区役所の保健こども課や教育機関等からの依頼に応じ、通訳や異文化理解等必要な協力及び情報提供を行いました。

依頼件数：27件

相談言語：英語11件、中国語6件(台湾1件)、ベトナム語2件、インドネシア語3件、シンハラ語1件、ポルトガル語1件、日本語3件

相談内容：教育(就学・発達・療育含む)13件、メンタルケア1件、職員研修(やさしい日本語)3件、学校行事3件、健康診断2件、赤ちゃん訪問(妊婦訪問含む)2件、事務手続き2件、他1件

相談地域：アジア17件、アフリカ9件、南アメリカ1件

●多文化共生ソーシャルワーカー活動

外国人市民の相談に応じ、各種公的機関や民間団体と連携を図りながら解決までのサポートを行いました。

④ 医療通訳ボランティア派遣制度

NPO 法人メディカルサポートと協力し、医療通訳ボランティア養成講座を修了したボランティアを提携する医療機関からの依頼をもとに派遣、または電話通訳で対応しました。

《提携医療機関》 9 医療機関

《医療機関名》 国立病院機構熊本医療センター・熊本大学付属病院・熊本赤十字病院・
福田病院・熊本中央病院・熊本機能病院・くまもと森都総合病院・桜十字病院・
熊本市立市民病院（2023年2月1日協定締結）

《依頼件数》 95件

英語 67件、中国語 23件（台湾1件）、ベトナム語 4件、インドネシア語 1件

(2) 日本語教育支援事業（熊本にほんご教育プラザ）

外国人市民が、熊本での生活に早く慣れ、より豊かな暮らしができるように会話や生活習慣を学ぶ日本語教室を通年で開催しました。上半期は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学習者やボランティアで活動する方は少なかったものの、行動制限の緩和が行われて以降、学習者は徐々に増加しました。ボランティアの中には、活動再開に不安を抱える方も多く活動者が減少したため、改めてボランティアの募集を行い対応しました。

① 暮らしのにほんごくらぶ

日 時：毎週火曜 10:00～12:00

毎週水曜 10:00～12:00、14:00～16:00、18:30～20:00

毎週日曜 10:00～12:00、14:00～16:00

学習人数：延べ 1,927 人

ボランティア活動人数：延べ 1,803 人

場 所：国際交流会館 2F 交流ラウンジ

参加費：100 円

② 「はじめてのにほんご」（初級日本語講座）

日本語を学んだことのない外国人市民や来日したばかりの外国人市民を対象に、日本語の基礎文型や文法をプロの日本語教師から授業形式で学ぶ講座を年3回（7月～8月、11月～12月、1月～3月）実施しました。

《第1回》

期 間：令和4年7月1日（金）～8月29日（月）9:30～11:30

月曜日・木曜日・金曜日の計 22 日間

場 所：国際交流会館 2F ミーティングルーム

参加人数：3 人



≪第2回≫

期 間：令和4年10月17日（月）～12月15日（木）9:30～11:30

月曜日・木曜日・金曜日の計22日間

場 所：国際交流会館 2F ミーティングルーム

参加人数：4人

≪第3回≫

期 間：令和5年1月26日（木）～3月24日（金）9:30～11:30

月曜日・木曜日・金曜日の計22日間

会 場：国際交流会館 2F ミーティングルーム

参加人数：5人

③ 地域日本語教室運営事業

≪健軍教室≫

日 時：毎月第1・第3・第4火曜 10:00～11:30

学習人数：延べ30人

ボランティア活動人数：延べ30人

場 所：健軍商店街よって館ね

参加費：無料

≪武蔵ヶ丘教室≫

日 時：毎週火曜 10:00～11:30

学習人数：延べ222人

ボランティア活動人数：延べ223人

場 所：菊陽町西部町民センター

参加費：300円/月



≪東区くらしのにほんごくらぶ≫

日 時：毎月第1・3日曜 10:00～11:30

学習人数：延べ72人

ボランティア活動人数：延べ59人

場 所：東部公民館

参加費：無料

≪西区くらしのにほんごくらぶ≫

日 時：毎月第2・4土曜 13:30～15:00

学習人数：延べ60人

ボランティア活動人数：延べ80人

場 所：田崎市場会館

参加費：無料



≪南区くらしのにほんごくらぶ≫

日 時：毎月第1・3日曜 13:30～15:00

学習人数：延べ63人

ボランティア活動人数：延べ65人

場 所：富合公民館（8月まで※）、南部公民館（9月から）

参加費：無料

※参加者や会場側の都合で9月より南部公民館へ変更しました。

④ オンラインにほんごおしゃべり会

新型コロナウイルス感染症の影響や地域日本語教室へ参加できない学習者向けに、日本語会話の機会を提供するため「オンラインにほんごおしゃべり会」を開催しました。本年度は、熊本県立大学で日本語教授法を学ぶ大学生に呼びかけ、おしゃべり会の進行及び会話活動を担ってもらい、大学生にとって良い実践の場となりました。

日 時：毎月第2・4土曜 18:30~20:00

学習人数：延べ73人

ボランティア活動人数：延べ102人

場 所：オンライン（Zoom）

参加費：無料



⑤ 生活日本語支援ボランティア研修会

地域の交流型日本語教室で活動するサポーターのスキルアップを図るため、やさしい日本語の研修や意見交換を行いました。

場 所：国際交流会館 2F ミーティングルーム

《1回目》

日 時：令和4年9月3日（土）10:00~12:00

参加人数：3人

内 容：活動の様子を見て考える

《2回目》

日 時：令和4年9月17日（土）10:00~12:00

参加人数：6人

内 容：各教室の紹介・相談・意見交換

《3回目》

日 時：令和4年10月1日（土）10:00~12:00

参加人数：7人

内 容：教材の作り方・情報の集め方

《4回目》

日 時：令和4年10月15日（土）10:00~12:00

参加人数：7人

内 容：天草ワールドフレンズの活動紹介

(3) 「外国人のため」の防災事業

マイタイムラインを作成する防災訓練について、外国人コミュニティのリーダーやキーパーソンを対象に個別説明を行い、次年度に向けた防災訓練の時期、内容についての意見交換を行いました。

《災害時外国人支援多言語サポーター養成講座の開催》

大規模災害発生時に、外国人被災者への適切な情報提供を始め、地域における外国人被災者の情報収集を行うなど、日本人市民と外国人市民を繋ぐ災害時外国人支援多言語サポーターを養成する講座を予定していましたが、参加者が集まらず中止としました。

《K-SAFE 運営》

災害時に情報を多言語で提供する K-SAFE を活用し、台風の予測情報や大雨情報、避難所開設情報など提供しました。情報の汎用性の高いものは、随時テンプレートを追加作成しました。

また、熊本市と共同で作成した「防災カード」の配布を行いました。

登録人数：632 人（英語 354 人、中国語 152 人、日本語 106 人、韓国語 20 人）

※K-SAFE の配信

- ・災害情報メール配信 18 件（台風、大雨、地震等災害時に多言語での災害情報メールを配信）
- ・生活情報等配信 12 件（日本語学習情報や生活情報、市政だより情報等を定期的に配信）

(4) 外国ルーツの子どもの支援事業

親の国際結婚や留学に伴い、海外から呼び寄せられた日本語が分からない子どもたちを支援するため、民間の支援団体と協力し以下の事業を実施しました。

① 外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンスの実施

外国にルーツを持つ子どもたちとその保護者を対象に、日本の教育システムや高校受験時の特別措置、配慮などの制度について熊本県教育委員会の担当者を招き説明、また、子どもたちのルーツ（言語）別に分け個別に説明する進路ガイダンスを行いました。

日 時：令和 4 年 7 月 3 日（日）13:00～16:40

場 所：国際交流会館 4F 第 1 会議室、第 3 会議室

内 容：【A】中国語・韓国語グループ 13:00～14:40

【B】英語・その他のグループ 15:00～16:40

参加人数：121 人

【A】61 人

中学生 7 人、保護者 7 人、中学校教諭 25 人、

高校生 1 人、大学生 2 人、県・市教委 3 人、

県人教 1 人、通訳 5 人、スタッフ 10 人

【B】60 人

中学生 8 人、保護者 8 人、中学校教諭 24 人、高校生 1 人、大学生 2 人、

県・市教委 3 人、県人教 1 人、通訳 3 人、スタッフ 10 人

参加費：無料

共催団体：NPO 法人外国から来た子ども支援ネットくまもと



② 外国籍児童のための教育サポート

義務教育期間における日本語指導が必要な外国籍児童に対し、日本語学習はもとより、教科学習指導や生活相談等を行う「おるがったステーション」を開催しました。また、未就学及び小学校低学年の児童を対象に、学校生活等に適応できるよう支援する「おるがったキッズ」を熊本県立大学文学部秋葉准教授の協力のもと、NPO 法人外国から来た子ども支援ネットくまもとと共催で開催しました。

●おるがったステーション

日 時：毎週日曜 10:00～12:00（中学生対象） / 14:00～16:00（小学生対象）

場 所：国際交流会館 5F 小会議室（洋）他

参加人数：延べ 454 人（中国、韓国、フィリピン、スリランカ等）

サポーター活動人数：延べ 182 人

●おるがったキッズ（新規事業）

日 時：毎月第4日曜 10:30~12:00

場 所：国際交流会館 5F小会議室（和）他

対 象：未就学児~小学校2~3年生

参加人数：延べ35人（中国、韓国、オーストラリア、アメリカ等）

協力団体：熊本県立大学文学部秋葉研究室

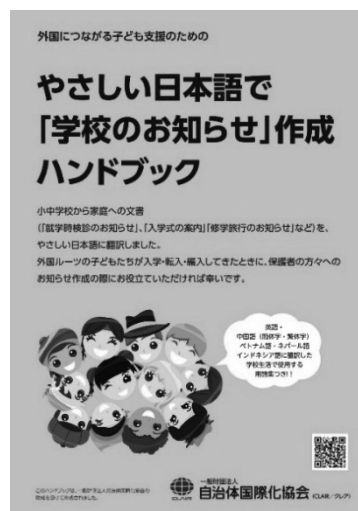
③「熊本・外国ルーツの子ども支援連絡協議会」事業

外国ルーツの子どもたちとその保護者を支援するため、有識者や賛同者が集まり“やさしい日本語で「学校のお知らせ」作成ハンドブック”を一般財団法人自治体国際化協会の助成を受けて作成しました。

ハンドブックは、市内の全ての小中学校へ配布、県内各市町村の教育委員会への配布、また、ホームページに掲載し、誰でもダウンロードでき、加筆修正できるように配慮しました。

発行部数：800冊

やさしい日本語で「学校のお知らせ」
作成ハンドブック QRコード



④ 連携事業

●熊本市立黒髪小学校日本語センター校開校式及び閉校式

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

●九州外国ルーツの生徒交流会 in 熊本

期 間：令和5年3月25日（土）13:00~17:00

26日（日）9:00~13:00

場 所：国際交流会館 5F 大広間 A・B、和室

参 加 費：無料

参加人数：延べ120人

連携団体：九州外国ルーツの生徒交流会 in 熊本実行委員会

